

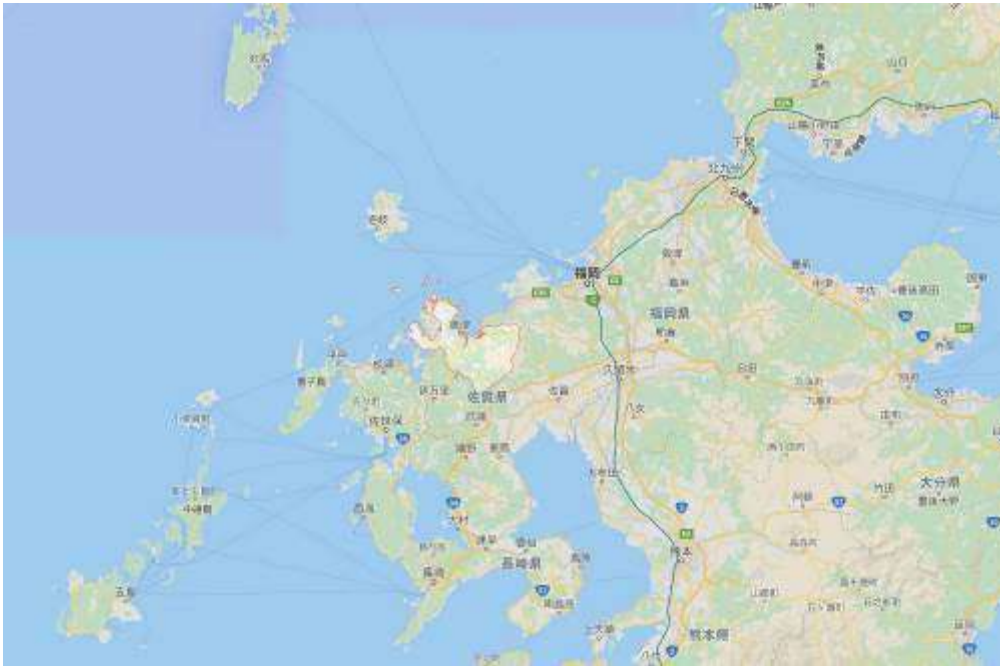
## 唐津城と唐津市



春の唐津城

### 唐津の位置

唐津は、九州、佐賀県の北西に位置し海（玄海灘）に面した自然が豊富な街です。唐津市中心街区は江戸時代の唐津藩の城下町が前身です。今も城下町の風情を残す町です、また、特別名勝の虹の松原、呼子朝市などが有名で、広大な面積に多数の観光資源を有する地域です。



唐津市は、九州佐賀県の北方面の都市です。



山から見た唐津市と海

## 唐津の歴史

唐津地方の歴史は古く、中国の歴史書『三国志』「魏書」第 30 卷「烏丸鮮卑東夷伝倭人条」に記されている末櫛国（松浦国）は、この土地のこととされている。

この地は大陸（中国、朝鮮半島）への渡海の最短の地域でもあるから、日本の大陸への玄関とされてきた。古代より大陸との間の往来が盛んで、最も早く優れた大陸文化が入ってきた地でした。



唐津城

唐津の町は江戸時代の唐津藩の城下町であり、統治した大名は6代6氏です。唐津藩は江戸時代、幕府老中を多く輩出した藩で、幕府治政の重要拠点と位置づけられていた重要な藩でした。

藩主は1代寺澤家、2代大久保家、3代松平家、4代土井家 5代水野家、6代小笠原家の6氏で、其々は有力大名であつた。初代藩主寺澤家の他は譜代大名でありました。

明治の近代建築を指導した、辰野金吾（近代建築の代表格、東京駅を設計）、また、曾禰達蔵は皇居前の三菱街の設計に参画した明治の代表的な建築家は唐津出身だった。

文化面でも、天野為之は早稲田大学学長、掛下重次郎は法律家（大審院検事）いずれも唐津藩士だった。後に総理大臣になった高橋是清も唐津洋学校の教師



であつた。

この様に唐津藩士達や町人文化は素晴らしいものであつた。

## 現在の唐津市

現在の唐津市は閑静な住宅街。界限には伝統唐津の料理店や料理旅館が多くある





明治創業、木造3階建ての建物は大正12年築(1923年)。平成10年、登録有形文化財に指定されました。厳選されたうなぎを創業当時の焼き方で地焼きをし、香ばしく仕上げております。美味しいよ！



うなぎ屋

開花堂は、創業明治30年創業(1897年)の老舗、伝統的な和菓子を作っている。唐津地方の文化伝承をお菓子で繋ぐ





開花堂

昔は駅前旅館であつたが今は食堂、チャンポンが美味しいよ！



駅前食堂



中町のうなぎ屋



農家から売りにくるこの蓮根は新鮮で美味しい。





ここは中町商店街 露店は朝から午前中までのようだ！



唐津名物 曳山せんぺい！



## 古い歴史を誇る伝統工芸品、唐津焼

唐津焼は、室町時代末から桃山時代にかけて、岸岳城主波多氏の庇護を受け雑陶を中心に焼かれていた。その後、朝鮮陶工が焼き始めたのは、朝鮮の役以後とされています。

唐津焼きは今から400年前に渡来した朝鮮陶工によって、焼き始められました、初期の唐津焼は朝鮮李朝の雑器と同じ様なものでした。今も昔ながらの登り窯の炎が燃え続け、素朴な焼物が焼かれています。





唐津焼窯元展示場、唐津駅の近くにあつて、唐津焼18窯の作品を展示している。



唐津駅前にあつた唐津焼の曳山。





唐津焼の曳山の正面図

文/图: [平川清](#)

翻译编辑 JST 客观日本编辑部